

<別紙>

代表執行役副社長 守谷誠二（CFO 兼 ESG 担当兼社長補佐）のコメント

東京電力グループは、東京電燈（東京電力の前身）が1908年日本で最初に電気自動車の購入、試験を行うなど、電気自動車の普及に関して長い歴史を持つ企業です。これまでも、東京電力グループは自動車メーカー、研究機関と電気自動車開発にともに取り組んできました。さらに、急速充電の国際規格である CHAdeMO の国際的な普及、V2X（Vehicle to Everything）の促進にも積極的に取り組んでまいります。

われわれは、すでに400台の電気自動車を業務車両として導入するとともに、ほとんどの事業所に充電設備を設置済みです。自らの業務車両を2030年までに電動化することで電気自動車の普及を牽引するとともに、EV100、EV30@30キャンペーンの活動に貢献していきます。

われわれは、さまざまな分野で「電化」の取り組みを加速することを通じて、地球規模の環境問題の解決と持続可能な社会づくりを目指していきます。

以上